

CASBEE-建築(新築)2016年版
 株式会社製作所 PX-80 1期組立工場新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート 実施設計段階

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		全体	
		評価点	重み係数	評価点	重み係数
Q 建築物の環境品質					2.6
Q1 室内環境			0.32		2.7
1 音環境		2.6	0.15		2.6
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40	3.0	
1.2 遮音		2.2	0.40		
1 開口部遮音性能	Dr-40	1.0	0.60	3.0	
2 界壁遮音性能		4.0	0.40	3.0	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	
2 温熱環境		2.7	0.35		2.7
2.1 室温制御		2.5	0.50		
1 室温	共用: 設定温度(冬期)22℃、(夏期)26℃	3.0	0.38	3.0	
2 外皮性能		1.0	0.25	3.0	
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38		
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	
3 光・視環境		2.2	0.25		2.2
3.1 昼光利用		2.4	0.30		
1 昼光率		2.0	0.60	3.0	
2 方位別開口				3.0	
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	
3.2 グレア対策		2.0	0.30		
1 昼光制御		2.0	1.00	3.0	
3.3 照度		1.0	0.15	3.0	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	
4 空気質環境		3.3	0.25		3.3
4.1 発生源対策		4.0	0.50		
1 化学汚染物質	F☆4の建築材料を使用	4.0	1.00	3.0	
4.2 換気		3.6	0.30		
1 換気量		3.0	0.33	3.0	
2 自然換気性能	開口面積 > 床面積の1/15以上	5.0	0.33	3.0	
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33	3.0	
4.3 運用管理		1.0	0.20		
1 CO ₂ の監視		-	-		
2 喫煙の制御		1.0	1.00		
Q2 サービス性能			0.30		3.0
1 機能性		2.5	0.40		2.5
1.1 機能性・使いやすさ		2.3	0.40		
1 広さ・収納性		1.0	0.33	3.0	
2 高度情報通信設備対応		3.0	0.33	3.0	
3 バリアフリー計画		3.0	0.33		
1.2 心理性・快適性		3.0	0.30		
1 広さ感・景観		3.0	0.33	3.0	
2 リフレッシュスペース	執務スペースの1%以上のリフレッシュスペース+自動販売機の設置	5.0	0.33		
3 内装計画		1.0	0.33		
1.3 維持管理		2.5	0.30		
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50		
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50		
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30		3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.0	0.50		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		3.0	0.80		
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30		
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.20		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途上位3種の、2種類以上にB以上を使用し、Eは不使用	5.0	0.20		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		
2.4 信頼性		2.8	0.20		
1 空調・換気設備		3.0	0.20		
2 給排水・衛生設備		1.0	0.20		
3 電気設備		3.0	0.20		
4 機械・配管支持方法	耐震クラスA	4.0	0.20		
5 通信・情報設備		3.0	0.20		

3 対応性・更新性			3.4	0.30	-	-	3.4
3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60	3.0	-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比0.12	4.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.38	-	-	2.4
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性							3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.5
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m =0.9	4.0	0.20	-	-	4.0
2	自然エネルギー利用	太陽光発電を設置	4.0	0.10	-	-	4.0
3	設備システムの高効率化	[BEI]/[BEI _m]= 0.67	4.3	0.50	-	-	4.3
4 効率的運用			1.0	0.20	-	-	1.0
集合住宅以外の評価			1.0	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		1.0	1.00	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.6
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60	-	-	2.6
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	OAフロアを利用	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		リサイクルCO2排出量76%	3.9	0.33	-	-	3.9
2 地域環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	0.50	-	-	
2	振動		3.0	0.50	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		1.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	